

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年2月5日

仙台・荒町児童館 「紙袋仮面」

頭がすっぽり入るくらいの紙袋をかぶり、目の部分に印をつけて、そこに穴を開けたら、制作のスタートです。

今回は、ハッピードールで出た布地の切れ端や、レースなども材料に持って来たところ、それにハマった子どもたちがたくさんいました。一時は、その材料のまわりに人だかりができ、机があるところではなく、その場で床に材料を置いて作業をはじめめるグループも！

厚紙で猫の耳をつくりはじめた女の子のグループで、ひとりだけ、ウサギの耳で仮面をつくっていると自慢の子。その仮面たちも、試行錯誤の末、レースの飾りをつけたり、リボンをあしらったりと、シックな出来上がりとなりました。

紙袋の細いマチ部分を顔の位置にして、頭には赤いモールの髪の毛をくっつけ、布の帽子をかぶせた女の子。

男の子の中には、忍びの者用の紙袋仮面。布地を幾重にもつなげて、ちょっとプリミティブな作品を仕上げる個性的な強者もいました。

紙袋仮面だけにおさまらず、仮面をつけた自分が持つ、鞭、剣、なども厚紙やビニールテープで作り、なりきっている子たちも男の子に多数。

最後には、自分の顔に直接、モールで触角？、ポンポンで鼻、新聞紙のひげまでつけて、踊り出す女の子もいたりして、スタッフ、先生もビックリでした。

考えてみれば「変身」は、子どもたちの大好きな世界です。みんな、なりたいたいにかにちゃんと「ヘンシンッ！」できたかな。

